

選挙人名簿登録者（平成29年12月1日現在）  
 男 142,557 女 145,774 計 288,331

衆議院(小選挙区)東京12区名簿登録者  
 男 229,297 女 233,077 計 462,374

在外選挙人名簿登録者  
 男 246 女 253 計 499

# きたく 選挙 だより

<発行>  
 北区選挙管理委員会  
 北区明るい選挙推進協議会

〒114-8546 北区滝野川2-52-10  
 TEL 3908-9054 FAX 3908-9064

<http://www.city.kita.tokyo.jp/>

## 衆議院議員選挙・ 最高裁判所裁判官国民審査

平成29年10月22日（日）に行われた、衆議院議員選挙・最高裁判所裁判官国民審査においては、小選挙区の区割り改定後、初めての選挙となりました。

投票日当日は、台風接近の影響により全国的に荒れ模様の天気となり、西日本を中心とする一部の自治体では、投票日の繰り上げや投票時間の短縮を行いました。

そのような中、北区の投票率は54.48%に達し、東京都の投票率の53.64%を超える結果となりました。

明るい選挙推進委員の皆さんをはじめ、関係各位の皆さんの多大なるご理解及びご協力を賜り、投開票ともに滞りなく行うことができましたことに、心より御礼申し上げます。今後とも、より一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

衆院選(小選挙区)		男	女	計
当日の有権者数	人	142,046	145,435	287,481
投票者数	人	77,020	79,598	156,618
投票率	%	54.22	54.73	54.48

### Check !

✓ **最高裁判所裁判官国民審査が  
公示日翌日から投票可能に**  
 今回の衆議院議員選挙から、国民審査の期日前投票開始日は、これまで選挙期日の7日前からでしたが、原則として、選挙公示日の翌日（11日前）から投票できるようになりました。

✓ **小選挙区選出の区割り改定**  
 東京第12区が北区全域と足立区、板橋区、豊島区の一部区域となりました。

## 台風接近！ 期日前投票者急増！

公職選挙法の改正により、7月の都議選から、期日前投票の事由に新たに6号事由「悪天候・天災」が加わりました。都議選で6号事由として投票を行った人は、87名でしたが、今回の衆院選では、9,442名でした。

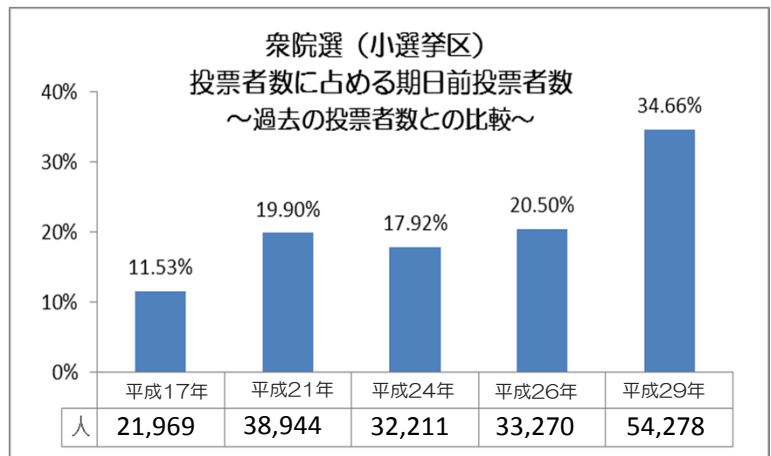
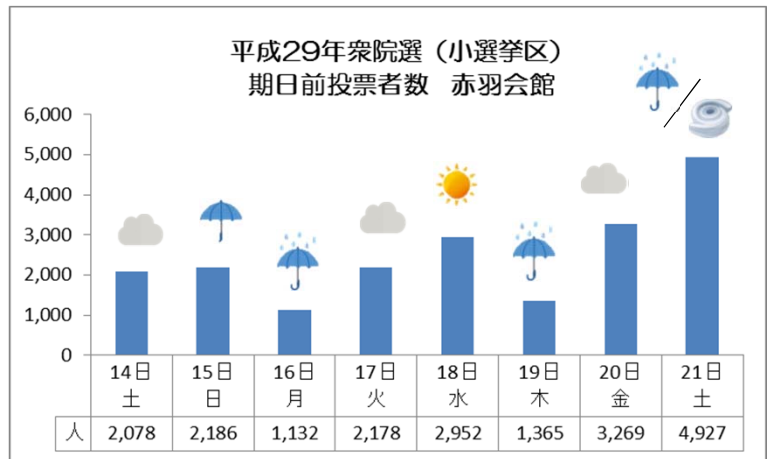
右のグラフは、赤羽会館（期日前投票所）の投票者数を日別に示したものです。棒グラフの上にはその日の天気を示しています。

あいにくの天候が続き、開設期間中に唯一晴れた18日は、平日でありながら約3,000人の方が投票しました。投票日に台風が接近する報道の影響を受け、21日の投票者数は、5,000人に迫る結果となり、過去最高の投票者数となりました。

右のグラフを見ると、投票者数に占める期日前投票者数の割合は、34.66%で、期日前投票利用者の増加が顕著です。

今回は、54,278人の利用があり、前回の平成26年執行の衆院選と比べ、約21,000人増加しました。

今後も、期日前投票制度の更なる浸透や、選挙人の投票意識の変化から、期日前投票利用者の増加が見込まれます。



## 東京都議会議員選挙

平成29年7月2日（日）に行われた東京都議会議員選挙において、投票環境の更なる充実を図るため、新たに東十条区民センターに期日前投票所を新設しました。

また、各地区の明るい選挙推進委員の皆さんのご協力を原動力として、積極的に商店街などで投票を呼びかける啓発活動を行い、投票率アップに取り組みました。

このような取り組みの結果、北区の投票率は、東京23区の中で最も高く、57.16%でした。全体の投票率との比較では、東京都全体（51.28%）より、5.88ポイント高く、23区全体（51.13%）より、6.03ポイント高い結果となりました。

## 都議選の投票率 23区で第1位！

北区の投票率	%	57.16
東京都の投票率	%	51.28
東京23区の投票率	%	51.13

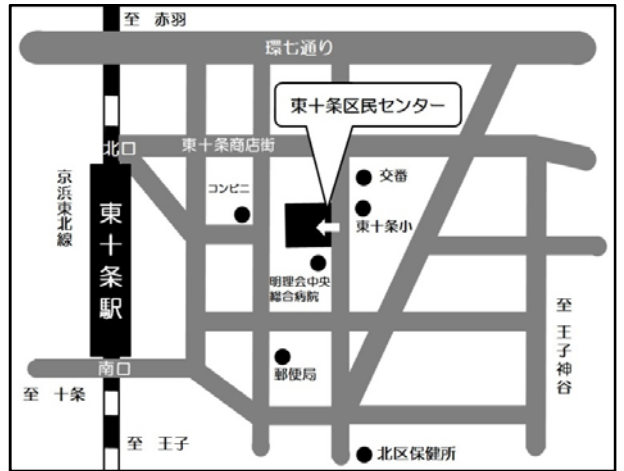
北区		男	女	計
当日の有権者数	人	139,143	142,985	282,128
投票者数	人	78,082	83,180	161,262
投票率	%	56.12	58.17	57.16

## 東十条区民センターに期日前投票所を新設

東京都議会議員選挙から、新たに開設した東十条区民センター期日前投票所は、都議選・衆院選ともに3日間にわたり開設した結果、都議選では1,864名、衆院選では3,889名の方が投票しました。

今後、地域に定着していくことで、より一層の伸びが期待されます。東十条駅から、歩いて3分ほどのアクセスで、立地条件にも恵まれています。

期日前投票所は、地域振興室会議室（3階）が会場です。車いすの方もエレベーターを利用できますので安心です。



# 選挙PRグッズなどの紹介

## 都議選



**うちわ**  
選挙のマスコット「めいすいくん」の笑顔が印象的なデザインです。

### ウェットティッシュ

夏の風物詩である「花火の大輪」と清涼感あふれる空の色が、行き交う人を惹きつけます。

### ポスター

平成28年度明るい選挙啓発ポスターコンクールで、「文部科学大臣・総務大臣賞」を受賞した作品を採用しました。



### 車両ステッカー

安全・安心パトロールカーや清掃車に選挙のステッカーを貼り、投票を呼びかけました。

## 衆院選



**ウェットティッシュ**  
ほのかにさわやかな香りがします。投票日がパッと映えるシンプルなデザインです。



**ポケットティッシュ**  
東京都をシルエットで表現しています。小選挙区の区域変更を呼びかけています。



### ポスター

平成28年度明るい選挙啓発ポスターコンクール作品のように晴れやかで、秋の高い空を連想させる色あいにしました。

# 推進委員のPR活動 《選挙時》

都議選・衆院選において、各地区の推進委員の皆さんが街頭啓発を行いました。その中から、いくつか活動の様子をご紹介します。

## 都議選の街頭啓発



**東十条商店街にて**  
～東十条地区の推進委員の皆さん～  
商店街の中を行き交う人々へ、東十条区民センターに期日前投票所を新設したことをPRするチラシを配り、投票を呼びかけました。



**十条銀座商店街にて**  
～十条地区の推進委員の皆さん～  
「お富士さん」でおなじみのお祭りが開催される中、より多くの地域の人たちと啓発を通じて関わることができました。

衆院選の街頭啓発



ふるさと北区 区民まつり（王子会場：飛鳥山公園）  
～明るい選挙推進委員の皆さん～  
北区を愛する、多くの方々にお会いすることができました。ふるさとを想い、選挙に行く人が増えると良いですね。



JR十条駅前にて  
～十条地区の推進委員の皆さん～  
色鮮やかなピンク色ののぼり旗「投票は願いを叶える第一歩」を掲げて、衆院選の投票を呼びかけました。

推進委員のPR活動《平常時》



カップまつり

豊島地区の明るい選挙推進委員の皆さんが豊島公園で開催された「カップまつり」で啓発活動を行っている様子です。さくら色のはっぴを着た推進委員の皆さんが手に持っているのは、「めいすいくん」をデザインしたうちわです！

この日は晴天で気温が高いこともあり、うちわを受け取った大人も子どもも、パタパタとあおぐ姿が見られました。

そして、後ろでかっこよくポーズを決めるのは、空気で膨らむ新型の「めいすいくん」。ふわふわとしたさわり心地は、子どもたちからも大人気でした。



豊島公園にて ～豊島地区の推進委員の皆さん

夏の子ども会



どんな場所づくりを  
模擬選挙の結果発表  
してほしいですか？

①運動・遊びができる場所づくり	23票
②勉強に集中できる場所づくり	13票
③趣味を楽しめる場所づくり	22票
合計	58票

田端小学校で開催された「夏の子ども会」において、模擬選挙を行っている様子です。

実際の投票所で使用している投票箱や記載台に、子どもたちも興味深々！本物と同じ材質の模擬投票用紙に自分の意思を託して、本格的な投票を体験しました。

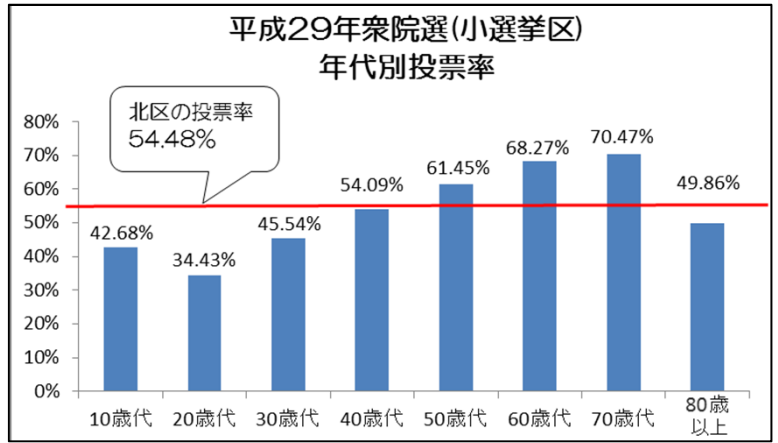
模擬投票結果は、上の表のとおり、1位 運動・遊び、2位 趣味、3位は勉強でした。

ぜひ、有権者になったときに思い出して欲しいですね！

田端小学校にて ～田端地区の推進委員の皆さん

## 伸び悩む若年層の投票率

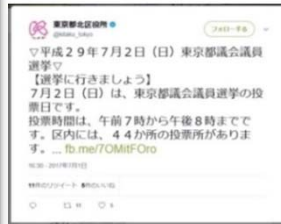
北区の年代別投票率を見ると、10歳代から40歳代は、北区の投票率を下回っています。とりわけ20歳代の投票率は、最も低く、その次に低い10歳代と比較しても、約8ポイントも下回っていることがわかります。若い世代の方には、投票は1回限りではなく、引き続き行うものという意識を持って、貴重な1票を投じることが望まれます。そして、これら若い世代の投票率を引き上げることで、全体の投票率の底上げが期待できます。



## インターネットでの啓発

(Twitter・Facebook)

若者へのアプローチとして、平成27年の北区議会議員・北区長選挙から、SNSを利用した啓発の取り組みを始めました。「初めて選挙に行くけど、どうしたらいいの?」という方にもわかりやすいように、投票の流れなどを図式化した画像も載せています。



## 若い世代を投票立会人に選任

選挙を身近に感じてもらい、政治に対する関心を高めようという目的で、未来を担う若い世代の方々に、当日投票所の投票立会人をお願いしています。7月の都議選では、新有権者の方をはじめ、20歳代の6名の皆さんに、投票立会人を務めていただきました。さらに、10月の衆院選では、4名の皆さんに公正な選挙が行われているか、投票立会人をしていただきました。今回は、都議選で投票立会人を務めた4名の皆さんの感想をご紹介します。今後も、若い世代の方々が投票立会人としての貴重な体験ができるよう、取り組んでまいります。



写真：滝野川第三小学校体育館投票所にて（東京都議会議員選挙時）  
左から、投票立会人の片岡真紀さん、塚本匠さん  
投票管理者の市村美恵子さん、投票立会人の五十嵐タミさん

### 【塚本匠さんの感想】

選挙運営の仕組みや投票所の様子など、こんなにも身近に選挙にかかわったことがなかったため、有意義な時間を過ごせました。老若男女、さまざまな方が投票に来られ、立会人として見ているうちに、人々の選挙に対する思いなどが感じられました。どうすれば投票に行く人が増えるのだろうかという気持ちがわきました。

### 【高山雄基さんの感想】

選挙に従事する人、投票に来る人のどちらも年齢層がとて高いことから、固定化している印象を受けました。若い世代の選挙人が少なく、シルバー民主主義が解消されないのは人口構造だけでなく、若者の関心の低さ・政治に対する信用の低さが大きいと感じました。

立会人をやって  
みた感想を聞いて  
みました!

### 【阿藤明日菜さんの感想】

今回初めて選挙権を得たということもあり、選挙の仕組みもわかる良い機会だと思い従事しました。思っていたよりも、多くの方が投票に来ていて、若い人も多くいたことに驚きました。



### 【関根一華さんの感想】

父や祖父が選挙管理に携わっていたのを幼いころから見ていたので、もともと選挙へ行くことへのハードルは、低く感じていました。今回の投票所は、区営プールの上階にあり、子どもの声がよく聞こえる会場でした。民意の代表を決める場というのに、とても合っていると思いました。

## 出前講座に取り組んでいます



また、学校で行っている生徒会選挙の際、実際に投票所で使用する投票箱や記載台を用いたり、選挙の意義や投票方法などについて学習をする出前講座も実施しています。

「選挙はなぜ行かなければいけないの？」などの疑問をはじめ、選挙の仕組みや投票の流れなど、選挙へ参加することの大切さや政治について考える面白さを伝えていきます。

今後も、選挙に関わりの少ない、若い世代の方々が、選挙について考える機会を持つことができるよう、取り組んでまいります。

北区選挙管理委員会では、主権者教育の充実を図るため、区内小・中・高等学校において出前講座や模擬投票を実施しています。

写真は、3月に赤羽商業高校で開催した模擬投票の中で、二者択一のクイズを行い、選挙について楽しく学んでいる様子です。

実際に出題した  
選挙クイズがこちら！

実際に投票できるのは  
どちらからでしょう

1 宇宙ステーション

2 南極

答えは、このページの一番下にあります。

## ポスターコンクール 受賞作品選出

平成29年度明るい選挙啓発ポスターコンクールに、たくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。

9月14日に審査会を開催し、厳正な審査の結果、優秀賞などを選出しました。

優秀賞は、次号の選挙だよりでご紹介いたします。



### 応募作品数

小学生の部	211作品
中学生の部	161作品
高校生の部	26作品
合計	398作品

### 審査結果

優秀賞の中から、東京都の審査会に推薦いたしました。

#### 優秀賞

「小学生の部」	11作品 (都推薦 7作品)
「中学生の部」	10作品 (都推薦 5作品)
「高校生の部」	6作品 (すべて都推薦)

#### 入賞

「小学生の部」	14作品
「中学生の部」	15作品
「高校生の部」	10作品



## 北区選管が表彰されました



北区選挙管理委員会は、平成28年7月31日(日)執行の東京都知事選挙において、「正確な事務執行」、「投票率の高さ」、「若年層に向けた啓発の取り組み」など、質の高い事務執行が認められ、東京都選挙管理委員会から表彰されました。

ひとえに、明るい選挙推進委員の皆さんをはじめ、関係各位の皆さんの多大なるご支援とご協力のおかげです。改めて、御礼申し上げます。今後とも、より一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

北区選挙管理委員会 一同



選挙クイズ 正解は、2 南極です。南極投票と言い、国政選挙において、国の行う南極での調査を行う人が投票できる制度です。